

会 議 記 録			
会議の名称	桂川・支川対策特別委員会		会議場所 第2委員会室 担当職員 佐藤
日 時	令和5年3月13日（月曜日）	開 議	午後 1 時 00 分
		閉 議	午後 1 時 16 分
出席委員	◎西口、○梅本、小林、片山、富谷、大塚、木村		
出席理事者			
出席事務局	佐藤主任		
傍聴者	市民0名	報道関係者0名	議員0名

会 議 の 概 要

13:00

[事務局説明]

年長委員を臨時委員長として委員会を開議し、委員長の選出を行っていただく。
年長委員の西口委員、委員長席へ。

[西口臨時委員長 委員長席へ移動]

<西口臨時委員長>

ただいまから開議する。委員長が選出されるまでの間、議事を進めさせていただきます。
よろしく願います。

1 正副委員長の互選について

<西口臨時委員長>

これより委員長の互選を行う。選挙の方法については、会議規則第126条の規定により、投票又は指名推選による。どちらの方法で行うか。御意見を。

<大塚委員>

指名推選で。

<西口臨時委員長>

指名推選により行うことに異議はないか。

(異議なし)

<西口臨時委員長>

異議なしと認め、選挙の方法は指名推選とする。

それでは、富谷委員からの指名としたいと思うが、これに異議はないか。

(異議なし)

<西口臨時委員長>

異議なしと認め、富谷委員による指名の方法とする。それでは、富谷委員から指名願う。

<富谷委員>

西口委員を委員長に指名する。

<西口臨時委員長>

ただいまの指名に異議はないか。

(異議なし)

<西口臨時委員長>

異議なしと認め、よって私が委員長に当選した。

[西口委員長 あいさつ]

<西口委員長>

次に、副委員長の互選を行う。選挙の方法について、投票又は指名推選のどちらの方法で行うか。御意見を。

<大塚委員>

指名推選で。

<西口委員長>

指名推選により行うことに異議はないか。

(異議なし)

<西口委員長>

異議なしと認め、選挙の方法は指名推選とする。

それでは、私から指名したいと思うが、これに異議はないか。

(異議なし)

<西口委員長>

異議なしと認め、梅本委員を副委員長に指名する。これに異議はないか。

(異議なし)

<西口委員長>

異議なしと認め、よって梅本委員が副委員長に当選された。

[梅本副委員長 副委員長席へ移動・あいさつ]

2 設置目的等について

<西口委員長>

設置目的は、記載のとおりであるので確認願う。活動内容については、例年まず5月から6月頃に桂川改修事業の進捗、今後の見通し等について執行部の説明を受け、現地調査等を実施することを基本としていたが、今期の活動について意見はあるか。

<木村委員>

日吉ダムの現地視察や霞提の嵩上げをした4か所の現地視察に行きたい。

<西口委員長>

いただいた意見を踏まえ、視察・研修・調査を行い、特別委員会としての役割を果たしていきたいと考える。視察については、相手方のこともあるので、事務局と調整して示していく。

3 閉会中の継続審査申し出について

<西口委員長>

事務局から説明を。
[事務局資料配付・説明]

<西口委員長>

別紙のとおり申し出ること異議はないか。
(異議なし)

<西口委員長>

では、このとおり申し出ることとする。今後、委員会運営について御協力のほどよろしく願います。

散会 ～13:16